

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら

SOS vol. 191通信
H28年7月10日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

《利用状況 案内板 (★募集中★満員)》

★ナイス・ケア **利用者さん大募集♪**
★ナイス・デイ (定員 10名)

日	月	火	水	木	金	土
8	7	7	7	8	7	8

★ナイス・ホーム (定員 25名、登録者 14名)
★愛宕の家 (定員 17名中入居者 14名)
★つしま紹介所
★ナイス・キッズ
(平日、下校後の利用のみ募集中)

～参考にご利用下さい～

《教室案内》

- ・和太鼓 月曜日(年間 35回)
場所：愛西市川淵コミュニティ
- ・コーラス 水曜日(月 2回)
場所：喫茶てのひら
- ・バスケット金曜日(月 2～4回)
場所：藤浪中学校体育館

※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。
各教室月謝制で、定員あり。
詳細はお問い合わせ下さい。

《7月行事予定》

- 7日 七夕
- 10日 外食DAY
- 19日 地域密着型事業所運営推進会議
- 20日 避難訓練 誕生日会
- 27日 いきいきサロン

《不定期行事》
天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

本音を言おうじゃないか！
「夕飯を17時にしてほしい！！18時ではお腹が空いてもたん！」

その本音に答えようじゃないか！
「・・・17時にはできません。ご飯食べたらすぐ寝ちゃうし。1日4食なりそうだし。太るからだめ！」

和太鼓交流会♪／打太鼓

6月19日(日)、東海太鼓センターが主催する和太鼓交流発表会に出演！満喫してきた♪ SOSでの和太鼓教室は7年目を迎え、みんな7つずつ大きくなっている。小学1年生から高校1年生、大人は40代から60代。大人は覚えるために必死だけど子どもと言ったら・・・言うことをきかない(笑)。7年前はもっとお利口だったのに・・・練習も愚だ愚だになってしまい、その姿に苛立つ大人。どこでもよくあることかな。でも何とか練習をこなしてきた。



その日は朝からリハーサル、衣装を着てヘアメイクをして本番が近づくにつれ、会場の雰囲気も変わり、段々と緊張の面持ち。いざ本番！自己満足かもしれないけれど、とてもとても格好よくいい顔して太鼓を打つことができた。そして、色んな人の演奏を聴くことで、もっと心に響く演奏ができるように頑張りたいと強く思った。子ども達もそう思っていてくれたら嬉しい。



日頃、太鼓の練習をしたり、地域の演奏に参加する時は現場の仕事をする他のスタッフに協力してもらっている。地域の方から声を掛けてもらえるようになり、演奏させてもらう機会をいただいている。太鼓の音や太鼓を打つ子ども達や大人の必死な姿を観てもらうことで感謝の気持ちを伝えられたらと思う。

《ご案内》
平成28年8月20日(土)
◆愛宕の家家族懇談会 14:00-16:00
◆盂蘭盆経 16:00-17:00
◆夏の宴 17:00-19:30



実行委員のメンバーも決まり、準備をすすめています。少しでも皆で楽しく過ごせる時間を作りたいと思っています。
別紙にてそれぞれのご案内を同封させていただきますので、皆様のご参加をお待ちしております。
◆利用者アンケート
同封しますのでご協力ください。

笑顔のパワー／愛宕の家
SOSに来てもうすぐ2ヶ月になる。まだまだ介護の仕事も初心者で、分からない事もいっぱい。
入居者さんとの関わりの中で自分自身の言葉が上手く伝わらなかったり、利用者さんが一生懸命お話してくださっているのに、何が言いたいのか分からず、何度も聞きなおしたり・・・やっと伝わったり分かったりした時にはホッとする。と同時に分からなかった自分に反省。入居者さんの言いたい事、したい事、して欲しい事、本当のところをちゃんと理解できているのだろうか？人の深意を読み取るのもこれまた難しい。こういった対応をすればよいのか・・・経験を積んでいけば分かるようになるのか・・・悩みの種は尽きない。でもそんな時、入居者さんの笑顔にホッとし癒される。『よし！頑張るか！』と言う気にもさせてもらえる。笑顔がとりえの私。私も皆さんに笑顔で接していこうと思う。(H・M)



孫が帰ってくる！？／ナイス・デイ&キッズ

6月に入り、学校から帰ってきたキッズたちは、デイサービスに立ち寄ることが多くなった。『ただいま～』と帰ってくるキッズに『おかえり～』と自然に声を掛けている利用者さんたち。

そして、同じフロアで『歳の差デイサービス』が始まる。まずは宿題。計算ドリルや漢字ドリルを見てもらったり、音読も聞いてもらっている。(ここでの音読はいつも以上に大きな声を出さないと聞いてもらえないから力も入る。なぜって？耳が遠い人や子どもに負けないよう大きな声で反応してくれる人もいますから♪)宿題が終わると、じいちゃん、ばあちゃんに、いっぱい、いっぱい褒めてもらっている子ども達は嬉しそう。でも、一番喜んでいるのは利用者さんたちの方かもしれない・・・。「かわいいな～」「賢いなあ～」と笑みが絶えない。見ていてこっちは微笑ましく思う。



デイサービスが終わった後は、スタッフの掃除のお手伝いをしてくれる子や、外へ遊びに行く子、思い思いに過ごす。そんな光景を見ながら、「こんな風に遠慮なく立ち寄ってくれるのは、小学生低学年のうちだけかもしれない。」とふと思う。でも、キッズたちには、毎日わずかな時間ではあるが、じいちゃん、ばあちゃんと触れ合う事で人を思いやる気持ちを育ててほしい。自分達を見守ってくれる大人がたくさんいることを感じてほしい。そして、利用者さんたちには、「子どもたちの宿題を見てあげる」「子守をしなくちゃっ」と、意気込んでいてほしい。もうすぐ夏休み。昔の夏の遊びをキッズたちに伝授してもらおうとひそかに企んでいる♪ナイスデイの利用者さん、頭フル回転でお願いします！(M・O)

いざという時は・・・／ナイス・ホーム

「何ともならんで助けて！」と電話があった。週4回の通い利用が中心のTさんの奥さんからだ。最近、何度も何度も同じことを話したり、夜中に何回も起きて奥さんを起こすというのだ。奥さんの様子から緊急でお泊りの利用が必要だと判断した。
その日の夕方、これからどうしたものか家族と一緒に考える。ケアマネである自分自身も現場で当人の症状を目の当たりにしている。だからこそ分かり合えることがたくさんある。話し合うことができる。「いかんわー。喧嘩になるわ～」「もっと優しくならなあかんのか」奥さまの口からこぼれる言葉で段々と表情が穏やかになっていく。けど今度は、『泊まり』をさせてしまうことへの後ろめたさがこみ上げてくる。心配で仕方ないのだ。(家族や夫婦って不思議ですね)
私たちの役割は少しでも住み慣れた家で家族や夫婦が暮らせるよう、「助けて」「任せて」「任せたよ」「一緒に頑張ろう」「その気持ちわかるよ」って言い合える存在であること。そして適切な制度や利用方法を明確に提案できること。縁の下の力持ちになりたい。(Y・O)

母と介護／ナイス・ケア

昨年の6月に一人暮らしをしていた実母が脳の病気で倒れた。手術、長期入院、リハビリを乗り越え今は施設に入居。そして、私は介護職であり、要介護者の家族となった。
病気のせいで自分の気持ちが上手く伝えられない事もある母が何気なく、「ヘルパーさんが元気がないと心配」
「自分がこんな身体になってしまっただけで申し訳ない」と呟くことがある。そんな言葉を聞くと、「利用者さんにこんな気持ちをさせてはいけない」と気付く。そして気丈であった母の言葉に涙が溢れる。自分が母の支えになりたい。
利用者さんやそのご家族が今何を思い、何を求めているのか。利用者さんの気持ちに寄り添えるヘルパーでありたい。私は母のおかげで、要介護者の家族の気持ちが実感できた。その思いを大切に、これからも介護の仕事に就いていきたい。(A・H)

《編集後記》

“柳のようであれ”というセリフをドラマで聞きました。“柳に受ける”“柳に風”“柳に雪折れ無し”。つい先日、柳の木がある場所にいました。子ども達は“お化けだぞ～っていいそうだね”と言っていました。柳のようにしなやかに強く穏やかにいられますように。暑い夏、色んな声を聴きとるために時には柳の中に隠れ心を静めることも必要だと感じます。(M・T)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。
7月の発送部数 78部